

彦根市は、一昨年の8月から、法定の合併協議会で豊郷町、甲良町、多賀町との合併について協議を続けてきました。私はこのたび、断腸の思いではありませんが、この1市3町の合併を断念することとしました。

今年の7月下旬から10月上旬にかけて、「これからの彦根のまちづくりを考える懇談会」を計55回開催し、1,477人の皆さんに参加をいただきました。懇談会では、国の三位一体改革の動きや彦根市の厳しい行財政環境、また、国や地方のさまざまな合併の動向などを市民の皆さんにご説明し、私の思いをお話ししました。そして、皆さんと率直な意見交換を行うとともに、それを

補充するアンケートにもお答えいただきました。このアンケートの結果は、先に「広報ひこね」11月1日号などを通じてお知らせしました。懇談会では、参加された皆さんが、ほかの参加者と私どもとのやり取りなどをじっくりぶんにお聞きいただきました。そのなかで、私の思いだけでなく、市民の皆さんのさまざまな思いについても認識を深めていただき、「自身の考え方を基本にして総合的に判断されたことと考えています。アン

1市3町の合併を断念

彦根市長

中山 一

ケートは、そうしてお答えいただいたものであることから、その結果は、お一人おひとりの真剣な思いの表れであり、市民の皆さんの貴重な声であると思っております。彦根市・豊郷町・甲良町・多賀町合併協議会が今年の2月に実施した住民意向調査では、「合併が望ましい」などとされた市民の皆さんが25.9%、「望ましくない」などとされた皆さんが54.5%となりました。今回の「まちづくり懇談会」でのアンケート結果を見ると、合併を是とする率が

47.8%と、住民意向調査の25.9%を相対上回りました。これは、懇談会を通じて意見交換をするなかで、市民の皆さんに一定のご理解をいただいたことを示すもの、こうした調査を全体として見ると、ご理解いただけなかった人のほうが多かったのが実情であります。

今回、1市3町の合併に向けては、常々、市長としてできるだけ多くの市民の皆さんや市議会の皆さんのご意見をお聞きし、意見交換を重ね、合併に対するお考えをお伺

いしてきました。こうしてこれまでお聞きいただいたご意見やアンケート結果などから考えますと、彦根市としてこのまま1市3町の合併を押し進めていくことへの市民全体のご理解を得ているとは言い難い状況であると思っております。

従いまして、この合併を彦根市としてこのまま押し進めていくことは、市民の皆さんの間に混乱と対立を招きかねないとの懸念もあり、たいへん困難な状況にあることから、今回、私、彦根市長としては、断腸の思いではありますが、この1市3町の合併は断念せざるを得ないとの最終決断に至りました。

この決断について、合併協議会を通じて皆さんにご説明させていただいたため、11月末日までに合併協議会を開催する予定で3町長と調整しましたが、議事の内容などで折り合わず、誠に残念ながら、合併協議会の開催にはいたりませんでした。

これまで市民の皆さんには、「まちづくり懇談会」にご参加いただき、貴重なご意見をいただきましたことに対し、改めてお礼申し上げます。今後、彦根市の行財政環境はますます厳しさを増すものと思われませんが、今後ともいつそのご理解と、市政運営に向けてのご協力をお願いします。